

ふるさとひょうご寄附金 兵庫陶芸美術館「最古の登窯焼成公開事業」

みなさまからお寄せいただきましたご寄附をもとに、
子どもたちへの感動体験事業等を展開しています。

令和4年度も子どもたちへの陶芸文化の感動体験をすすめていきますので、ご支援くださいますようお願いいたします。

ふるさと納税制度による令和3年度ふるさとひょうご寄附金の県立美術館・博物館応援プロジェクト・兵庫陶芸美術館「最古の登窯公開焼成事業」に多くの皆様からのご賛同、ご支援をいただきました。心からお礼申し上げます。



令和3年度寄附金額

件数	金額
20件	334,000円

(1) 最古の登窯焼成の公開とおもてなし

最古の登窯の焼成は新型コロナウイルス感染症等の影響で令和3年度の実施は見送りとなりました。なお、令和4年5月2日～4日の焼成は実施の予定で進めています。

(2) 子どもたちにやきものづくりの感動を届ける出前講座の開催

丹波焼の里へ出向くことが困難な小学校等を対象に、「丹波立杭焼伝統工芸士会」とボランティアグループ「陶芸文化プロデューサー」、兵庫陶芸美術館が連携して学校へ出向き、やきものづくり体験を行う出前講座を5校6回開催しました。各学校(園)では伝統工芸士による電動ロクロの実演や生徒による体験、丹波焼の土を使った器づくりなど丹波焼を知る有意義な時間を過ごしました。生徒からは丹波焼に興味を持った、最古の登窯での焼成見学に行きたいなどの意見も聞かれ出前講座開催の意義を確認できました。



(3) やきものづくりと最古の登窯の焼成体験

令和4年5月2日～4日の最古の登窯での焼成体験に向けて、窯の中に入れる作品づくりを「陶の郷」で実施しました。募集の2倍を超える応募があり体験事業への関心の高さがうかがえましたが、まん延防止等重点措置の期間中でもあり、3月19日(土)、20日(日)の分散実施となりました。抽選で選ばれた約60名は、親子で作品づくりを楽しみ、その後最古の登窯の見学に行かれるなど焼成体験に思いをはせていました。

